

第21回企画展 | 松浦武四郎生誕200年記念 |

幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎

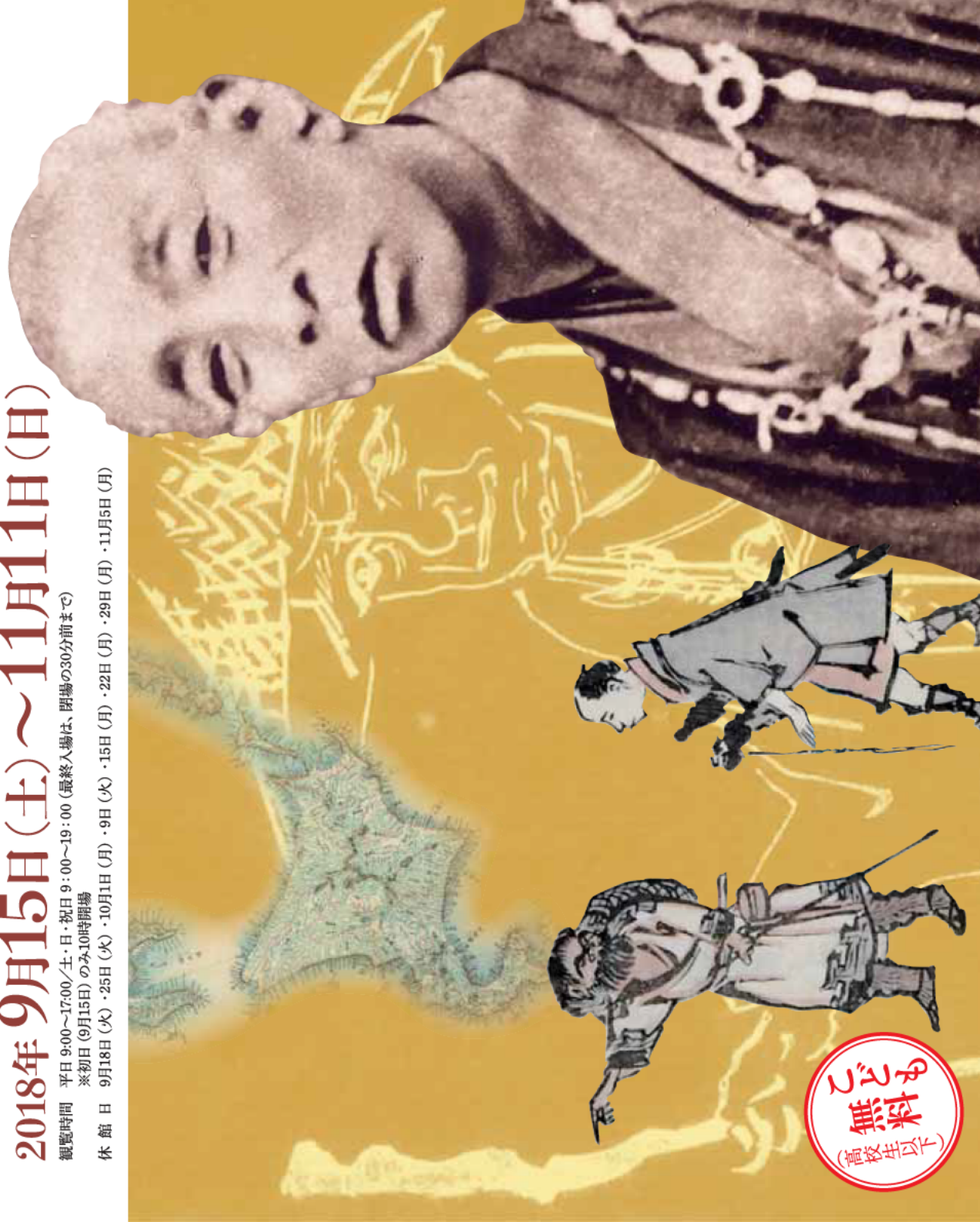
— 見る、集める、伝える — 三重県総合博物館

2018年9月15日(土)～11月11日(日)

観覧時間 平日 9:00～17:00/土・日・祝日 9:00～19:00 (最終入場は、閉場の30分前まで)

※初日(9月15日)のみ10時開場

休館日 9月18日(火)・25日(火)・10月11日(月)・9日(火)・15日(月)・22日(月)・29日(月)・11月5日(月)



主催：三重県総合博物館 共催：松浦武四郎記念館、松浦武四郎展実行委員会
協力：松阪市、北海道博物館
後援：公益社団法人北海道アイヌ協会、大台町、三重県博物館協会、歴史街道推進協議会
助成：芸術文化振興基金、公益財団法人 岡田文化財団

[巡回情報] 12月15日(土)～2019年2月11日(月・祝) 北海道立帯広美術館

右より 松浦武四郎肖像写真(松浦武四郎記念館所蔵)
松浦武四郎自画像「庚辰海記」より(三重県総合博物館所蔵)
北海道開拓図(草木崇世・孝氏所蔵)

武四郎と案内をするサハリン先住民「北郷茨茶絵」より(北海道立文学館所蔵)



MieMu | みえむ

〈北海道の名付け親〉と呼ばれる松浦武四郎(1818~1888)。伊勢国(現三重県松阪市)で生まれ、幕末期に北海道を6回踏査し、アイヌ民族の生活状況などを克明に記録したことはよく知られています。彼はまた、幕末の志士や政治家、学者、文人との幅広い交流の中で〈情報通〉や〈蒐集家〉としても有名だったことなど、これまでもあまり知られていない顔も持っています。強い好奇心と情熱のもと、旅に生き、幕末維新という激動の時代の諸相を集めて、伝えようとした、その希代の生涯をたどります。

●記念講演会
旅の巨人 松浦武四郎が遺したもの
講師/佐々木利和氏(北海道大学客員教授)
日時/10月28日(日)13:30~15:00
定員/80名
参加方法/事前申込み(電子申請・往復はがき)
応募者多数の場合は抽選。
詳しくはホームページをご覧ください。

当日
受付

ミニレクチャー&ギャラリートーク

- ① 9月16日(日) 松浦武四郎と大台ヶ原山登山の謎
大川吉崇氏(大川学園理事長)
- ② 9月30日(日) 志士たちの書状を読む
藤谷 彰(三重県総合博物館)
- ③ 10月14日(日) 三重県が生んだ北海道の名づけ親
松浦武四郎の誇り
高瀬英雄氏(元松浦武四郎記念館館長)
- ④ 11月 4日(日) 近代初期の松浦武四郎
小玉道明氏(県史編さん専門委員)

いずれも13:30~15:00
ミニレクチャー終了後ギャラリートークを行います。
※ギャラリートークには企画展の観覧券が必要です。

幕末維新を三重から語る武四郎鼎談

当日
受付

日時/11月11日(日)13:30~15:30
報告者/山本 命氏(松浦武四郎記念館)
三浦泰之氏(北海道博物館)
太田光俊(三重県総合博物館)
定員/80名

松浦武四郎研究の最前線2018

日時/9月29日(土)13:00~16:15
報告者/内川隆志氏(國學院大学教授)ほか
会場/三重県総合文化センター 多目的ホール
参加方法/事前申込み、先着順
申込み・問合せは三重県生涯学習センター
(TEL:059-233-1151)へ

次回企画展は

くらしの道具〜いま・むかし〜

特展“三重の伝統産業”

12月15日(土)

~2019年2月17日(日)

おたのしみ!



写真提供:松阪ももん手織りセンター

子ども楽しく武四郎を学べます。

武四郎ぬり絵
武四郎がえがいた絵に色をぬろう!

武四郎の北海道の旅を体験できる巨大すごろく!

アイヌ語をブロックで学ぼう!

プロジェクトンマッピングで武四郎の旅を知ろう!

画鬼河鍋眺斎による奇想天外の涅槃図



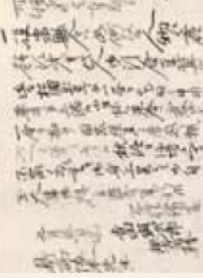
【原文】武四郎涅槃図 明治19(1886)年
(松浦武四郎記念館所蔵)(前期展示)



武四郎蒐集の品々

【原文】玉類 年代不詳
(松浦武四郎記念館所蔵)(後期展示)

交流があった志士たちの書状



【原文】吉田松陰書簡 嘉永6(1859)年
「灰心余赤」下より
(松浦武四郎記念館所蔵)(前期展示)



大台ヶ原登山に携えた傘、眺斎らの寄せ書き

【原文】藤村因隠付傘 明治19(1886)年
(松浦武四郎記念館所蔵)(後期展示)

アイヌのくらしを紹介した武四郎の出版物



銅板挿画 安政6(1859)年
(十勝毎日新聞社所蔵)(全期間展示)

伊勢・紀伊・大和三国の界、大台ヶ原の大パノラマ図



背景・北海道回郡図 明治2(1869)年
(高木岩世芝氏所蔵)

大台山頂眺望之図 明治18(1885)年
(十勝毎日新聞社所蔵)(全期間展示)

観覧料	企画展「松浦武四郎」企画展と基本展示とのセット券	基本展示券
一般	800円(640円)	1,040円(830円)
学生	480円(380円)	620円(490円)
高校生以下	無料	無料
年間パスポート(すべての展示フリーパス)	無料	無料
年間パスポート(すべての展示フリーパス)	一般1,640円/学生1,020円	

()内は前売券及び20名以上の団体割引料金。前売券はチケットぴあ店舗、サークルK・サンクス、セブン-イレブンで平成30年8月17日(金)午前10時から5月14日(金)まで販売します。チケットぴあ(Pコード:991-864)ただし、インターネット・電話での予約購入には、手数料が別途必要です。
●身体障害者手帳等をお持ちの方とその付添の方1名様は観覧料無料となります。
●毎月第3日曜日は草履の日で、正絹観覧料の2割引きまでご覧いただけます。
●コーポレーションデー(不定期)は、基本展示の観覧料が無料になります。日時はHP等で確認ください。

MieMu

三重県総合博物館 Mie Prefectural Museum, Japan

三重県津市一身田上海部田3060(三重県総合文化センター向かい) 〒514-0061

tel 059-228-2283(代表) fax 059-229-8310 mail MieMu@mie.jp

web http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/

twitter @mie_pref_museum

facebook https://www.facebook.com/mie.pref.museum

【開館時間】午前9時~午後7時 ※※展示エリアは平日午後5時まで、土・日・祝は午後7時まで(最終入場は、閉場の30分前まで)
【休館日】9月18日(火)、25日(火)、10月1日(月)、9日(火)、15日(月)、22日(月)、29日(月)、11月5日(月)
【アクセス】公共交通機関:津駅(近鉄名古屋線、JR 紀勢本線、伊勢鉄道)西口下車、津駅西口から三重交通バス「総合文化センター一行き」[津が五国地区行]約5分、「総合文化センター」前下車/徒歩:津駅西口から約25分/自動車:伊勢自動車道「津IC」から約10分、「芸濃IC」から約15分

